

2018【いろいろの里大平宿申込要領】～予約申込から当日まで～

南信州観光公社

1. 問合せ及び申込方法

①電話、FAX、メールで希望日程、利用希望民家(ある場合)を知らせる。

→民家の決定の第一要因は空き状況ではなく、使いながら残す(保存する)ために利用状況も鑑みて決定しますので、希望通りにならない場合があります。

②仮予約回答については、即時にできる場合と調整確認に数日要する場合があります。

③仮予約の後、申込書兼同意書と各種確認書面をFAX、メール、郵送等で送付します。

④各種書面の内容を確認の上、申込書兼同意書に必要事項を記入して郵送する。

→〒395-0152 飯田市育良町 1-2-1(株)南信州観光公社宛て

*利用希望日 2週間前以内の問合せ、申込の際は FAX・PDF メールでも受け付けます。

⑤申込書兼同意書の記入内容について確認出来次第、利用許可証と請求書を送付します。

⑥利用許可証と請求書の内容を確認し、到着後 1週間以内に保存協力費の支払手続をお願いします(振込もしくは現金書留、お近くの方は当社にて精算でも結構です)。

⑦入金の確認ができましたら正式な予約の完了です。万一期日までに入金の確認ができず、連絡がつかない場合は仮予約を受け付けていても取消となる場合があります。

***原則としてメール申込フォーム、電話のみでの正式予約の受付については、事前の理解や確認が疎かになることを避けるため行っていません。**

2. 保存協力費について

宿泊・・・1人¥2,300(就学前児童は不要)、2泊目からは¥2,000

日帰り・・・1人¥1,300(他に宿泊利用者がいない場合のみ/就学前児童は不要)

***ペットについて以前は¥1,000でしたが、アレルギーや咬傷事故の防止のため、設定から外しています。民家(土間を含む)には入れず、ゲージ等で各自管理下さい。放飼い厳禁。**

3. 受付人数と利用期間について

人数・・・大人2名以上(携帯も通じない山の中なので、安全対策上の理由による)

期間・・・連続6泊まで(体験利用であること、民家保存のため利用の偏りを防ぐため)

*標高約1100mの高地にあり、冬期間は雪に閉ざされているため、利用受付期間は4月下旬の大型連休から11月中旬過ぎ迄です(積雪の状況等により前後する場合有)。

4. 薪や寝具について

基本は持参ですが事前申込で当社にて販売、レンタルしています。

*薪1束¥500/一軒につき3束まで販売 寝袋¥1,000/1回のレンタル料

5. 当日の受付

事前送付の利用許可証を提示して、民家の鍵を南信州観光公社事務所で受け取ります。

遅くとも当日の14:00迄に済ませ、大平宿には15:00迄に着くようにして下さい。

裏面へ

家の掃除や、周辺の様子の確認、火おこしからの炊事など、山の中は夏場でも日暮れが早いので時間厳守をお願いします。

事故や渋滞等により遅れる場合は早めにご連絡下さい。営業時間内(17:30)であれば、状況により対応を検討致します。主な対応としては、翌日以降の空き状況による日程変更での利用の案内となります。気象災害など致し方の無い場合以外の直前での取消については返金できませんのでご了承下さい。

6. 必要物品の確認と不足時の確保

使用規定で案内している持ち物で不足があった場合は、近くのスーパーやホームセンター等をご案内しますのでお申し出下さい。

7. 大平宿での活動について

鍵受取の後、飯田市街地から県道(8号)飯田南木曾線で約50分、もしくは国道256号線から南木曾(木地師の里)経由で県道(8号)飯田南木曾線で約70分で大平宿へ入ります。道路情報は「飯田建設事務所」ホームページなどで確認できます。

*鳩打林道は土砂崩落等により通行できない場合有(情報も適時に提供されません)。

【いろいろの里大平宿】には現地管理事務所はありません。利用者自身が自己責任の下、利用規定を守り、活動することが基本となっています。

***当方の委託を受けた現地状況確認者が見回りや作業をしている場合があります。**

モデルスケジュール

※民家の使用については別紙使用規定を確認して下さい

- ①荷物の運び込み(車は街道には乗り入れない)*遅くとも15:00迄に到着
- ②入居環境整備・・・電気ブレーカー(電灯用)のスイッチ、民家内の配置、清掃
- ③周辺の確認・・・川や溝、街道の様子などを全員で確認する。暗くなると落ちたり、足を取られて転倒や挫くことがあるかもしれません。焚き付けの枝拾い等
- ④火おこし・・・いろいろから。空焚きや薪の使い過ぎに注意。16:00頃迄に取りかかれなるとその後の生活が大変。火を使っている間は必ず火の番を決めて!
- ⑤炊事、必要に応じて風呂焚き *水は煮沸(沸かして)利用すること
- ⑥夕食～いろいろを囲んで団欒、入浴(行う場合も短時間で済ませる)など
- ⑦火の元の確認(周りに燃え易いものが無いか、薪が燃え尽くしているか)
- ⑧就寝(真っ暗になるので、枕元に懐中電灯を用意しておく和良好的)／複数)
- ⑨起床～朝の散歩など *夏場でも朝は冷えるので、服装に注意。
- ⑩朝飯の準備
*いろいろや釜戸は火の始末や灰の片付けに時間がかかるので、退居日の朝は簡単に済ませるのが良いです。キャンプ用の湯沸しコンロなども有効です。
- ⑪退居の準備・・・いろいろ、釜戸、風呂釜内の灰の片付け(要領は民家使用規定を確認)
(11:00迄) 持込物の持帰り(ゴミも全て)、荷物や貸出物の積込み、忘れ物チェック
- ⑫下山・・・忘れずに鍵の返却を済ませる(貸出物の返却も)